

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

| | |
|---------------|---|
| (1) 公の施設の名称 | 倉敷市立磯崎眠亀記念館 |
| (2) 指定管理者 | 所在地 倉敷市茶屋町195番地 名称 磯崎眠亀顕彰会 代表者 会長 佐川 慶三 |
| (3) 公の施設の所管部署 | 倉敷市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課 |
| (4) 評価対象期間 | 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで |

2 総合評価結果

| | | |
|----------------|---|------|
| (1) 市の評価 | 館内外の美化や維持管理に努めており、丁寧な説明や、錦菟蒔の裏面を見せての説明がアンケートの高評価にも現れている。 | 総合評価 |
| | 社会見学の受け入れや書画作品展を実施するなど、入館者の増加や花蒔の製作技術に関する知識の普及にも努めている。 今後も引き続き良好な管理運営を期待する。 | S |
| (2) 指定管理者の自己評価 | 来館者に丁寧な対応を心掛けた。 新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用及び手指消毒の徹底に努め、館内の換気に留意した。部屋の貸し出しは2月、手織り体験は3月まで中止した。 来館者に錦菟蒔の裏側も鑑賞してもらっているが、表面との違いに感嘆の声が聞かれ好評である。 茶屋町小学校3年生（189名）が社会見学で来館し、スライドでの説明と展示品を見て回り、郷土の偉人である磯崎眠亀が錦菟蒔を発明するまでの4年間に渡る努力と創意工夫について真剣に学んだ。 「眠亀まつり」は、中止し、「一般の部総合作品展」及び「児童書画作品展覧会」を11月12日から23日まで実施し最終日に「児童書画作品展」の表彰式を行った。当日は館内及び錦菟蒔を保護者に見ていただいた。 | |
| (3) アンケート結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> 来館者の男女比率は男性が約6割、女性が約4割で、9割強が初来館、住まいは市内が全体の約5割であった。 利用満足度と管理人対応は全員が満足またはほぼ満足と回答した。施設と安全対策は各1名がやや不満であるが、その他はすべて満足またはほぼ満足であった。 磯崎眠亀の努力、錦菟蒔の素晴らしさへの感想や、説明へのお礼が多くみられた。 | |

3 施設の利用状況

| | |
|-----------|----------------------------------|
| (1) 利用者数 | 前年度入館者数 1,008人 今年度入館者数 1,120人 |
| (2) 事業の内容 | 倉敷市立磯崎眠亀記念館の管理運営に関すること |

4 収支

| | |
|----------------------|---|
| (1) 収入 (指定管理者の収入) | 総額 1,498,190円 市からの指定管理料(委託料) 1,484,000円 自主事業収入 14,190円 |
| (2) 支出 (指定管理者の支出) | 総額 1,585,440円 主な支出 人件費 1,484,000円 消費品費 62,568円 保険料 21,272円 照明器具取替 17,600円 |